

技術・家庭科 家庭分野 学習指導案

期 日 令和4年 9月27日 (火)

学 級 北上市立和賀東中学校

3年 B組 36名

会 場 被服室

授業者 小野寺 麻里

1 題材名 自立した消費者となるために

2 題材について

(1) 生徒観

本校3年生70名を対象に行ったアンケート調査によると、欲しいものがあつた場合、お年玉や貯金、自分のお小遣いで購入を検討している生徒が約76%であり、自分で商品を選択・購入する機会がある生徒は多い。一方で、毎月お小遣いをもらっているという生徒は半数に満たないということから、毎月のお小遣いを計画的に管理する習慣がほとんどない生徒が半数近くを占めている。また、お小遣い帳を記入している生徒はおらず、14%の生徒が「以前取り組んだことはあるが、今はやっていない」と回答している。こうした実態から、目に見える形で、お金を管理することは現状として行われていないと考えられる。

近年、キャッシュレスでの支払いが推奨されたことにより、多くの家庭においてキャッシュレス決済は一般的なものとなった。実際にアンケート結果を見ると、キャッシュレス決済の経験がある生徒は30%程度ではあるものの、家族がキャッシュレス決済を行っていることと答えた生徒は88%であり、家庭の中では身近な支払い方法になってきていることがわかる。また、昨今では目に見えないところで複雑な消費者トラブルに巻き込まれるニュースを度々耳にする。実際に本校の生徒もインターネットショッピングの利用やフリマアプリの利用を身近なものとして捉えたり、キャッシュレスでの支払いに触れる機会が増えたりしており、多様な支払い方法に応じた計画的な金銭管理の必要性や消費者被害の背景とその対応について理解させるとともに、物資・サービスの選択に必要な情報を活用した購入について工夫することができる力を育む必要があると考えられる。

質問内容	結果	
Q1. あなたは、月にいくらのお小遣いをもらっていますか？	はい	45.6%
	いいえ	54.4%
Q2. いくらのお小遣いをもらっていますか？	決まった額では無い	45.6%
	～1000円	14.7%
	～2000円	20.5%
	～3000円	11.8%
	3000円以上	7.4%
Q3. 欲しいものがあつたらどのようにしていますか？	お年玉などの貯金で買う	45.6%
	お小遣いで買う	30.9%
	その都度お金をもらって買う	13.2%
	家の人に買ってもらう	10.3%
Q4. お小遣い帳をつけていますか？	つけている	0%
	つけていない	81.8%
	つけたことはあるが、やめた	18.2%

(2) 題材観

本題材は、学習指導要領「C 消費生活・環境」の(1)「金銭の管理と購入」のア及びイ、(2)「消費者の権利と責任」のアとの関連を図った題材である。消費生活・環境の内容は、課題をもって、持続可能な社会の構築に向けて考え、工夫する活動を通して、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境について課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成することを目指している。これを踏まえ、自分の消費生活を想起し、物資・サービスの選択・購入について問題を見いだして課題を設定し、金銭の管理と購入に関わる知識及び技能を身に付けるとともに、それらを生かして物資・サービスの選択・購入と、その評価・改善について学習していく構成とした。

家庭における消費生活の問題を考えるにあたって、題材を通してモデル家族を教材とし、共通して考えることができるように配慮した。生徒は、モデル家族が抱える問題と向き合う中でその解決策を個人で考えたり、グループで協議したりしていくことを通して思考の拡散させていく。様々な問題と向き合う中では、家庭の実態のみならず、「持続可能な社会の構築」の視点を中心とする生活の営みに係る見方・考え方にも気づかせていく。これにより、実際に自分の家庭生活に立ち返った際に、問題解決のための最適解を考えていくにあたって、思考を収束させていく視点として、見方・考え方を働かせていくことができると考える。

本題材は、小学校での基礎的・基本的な既習事項を土台としながら、実際の家庭での消費生活を想定した金銭の流れの把握や、購入方法と支払い方法の特徴に応じた物資・サービスの選択、消費行動で成立する様々な契約とその際のトラブルへの対応を扱う。生徒はこの後の高等学校での学習で、長期的な経済計画や家計収支など、実生活でのより複雑な問題とも向き合っていくこととなる。本題材の学習を通して、生徒自身が

将来に向けて考えを深め、今後直面する様々な課題を解決していけるような資質・能力の育成を図りたい。

(3) 研究主題との関連（指導観）

① 問題を見だし、解決する題材のデザイン

学習指導要領では、「物資・サービスの購入についての課題を解決するために、身に付けた基礎的・基本的な知識及び技能を活用し、持続可能な社会の構築などの視点から、物資・サービスの選択、購入、支払い方法について考え、工夫すること」としている。

本題材では、自分や家族の消費生活を想起させ、自立した消費者になるためのスキルを様々な視点から考えることができるように、生徒にとって想定しやすい具体的な場面を取り上げる。また、題材の中で一貫したモデル家族を提示し、生活スタイルや家族構成による様々な葛藤など、より現実的なイメージとして結びつけられるようにした。仲間との意見交流の場面を通し、より良い消費生活の実現に向けてお互いにしていけば良いかアドバイスしあい、評価・改善をしていく。モデル家族を通して学んだことが、自分自身にフィードバックされ、自分や家族の消費生活においても問題解決できる力を育成していきたい。

② 「問題を見だし、解決する力」という「思考・判断・表現」の観点の評価方法例

評価対象	「発表を踏まえ、商品の選択に必要な情報を改めて見直し、購入したい商品を再検討しよう。」
評価方法	「購入したい衣服を選択した視点」＋「理由の記述」
評価項目	物資・サービスの選択・購入について、実践を評価したり改善したりしている。

	生徒の記述	読み取りのポイント
「十分満足できる」状況 (A)	前回の決定理由にも書いた通り、予算や機能の面から見て自分が求める条件を満たしている。それに加えて、自分が求める条件に合っているだけでなく、素材も環境に配慮したものが使われていることを踏まえると、購入時や廃棄・再利用の環境負荷が低いという点で購入するメリットがあると言える。	収集した情報と発表を踏まえて改善するだけでなく、持続可能な社会への視点や、既習事項などを活かしてより具体的な理由を記述している。
「おおむね満足できる」状況 (B)	予算内で購入することができ、店舗販売よりも安く購入することができる。通信販売の店舗が信用できるか不安ではないかというアドバイスがあったが、ジャドママークが表示されているため、安心して購入できると考えた。	収集した情報と発表を踏まえ、商品選択の理由を記述している。
「努力を要する」状況 (C)	前回と同じで予算内でインターネットで購入できる点がいいと思った。	自分の選択を評価・改善した上で、新たな視点も踏まえて再検討できるようにする。

③ 「問題を見だし、解決していこうとする態度」という「主体的に学習に取り組む態度」の観点の評価方法例

評価対象	「自立した消費者となるために、これからあなたが大切にしていこうとするものは何か。」
評価方法	「自らの学習の調整」＋「工夫し創造しようとする態度」から評価
評価項目	金銭の管理と購入について、工夫創造し実践しようとしている。

表 「問題を見だし、解決していこうとする態度」の評価方法例

	生徒記述	読み取りのポイント
「十分満足できる」状況 (A)	適切な情報やアドバイスを参考に自分や家族にとっての必要性やバランス、優先順位をしっかりと考え、商品を購入したい。購入の際は、再利用や省エネの商品を選択するなど、環境への配慮や持続可能な生活につなげたい。	自分や家族にとって必要なものの優先順位を考慮したり、環境への配慮など持続可能な社会の構築の視点などを踏まえたりして、今後の生活を展望しながら具体的に記述している。
「おおむね満足できる」状況 (B)	今までは、価格やデザインを重視していたが、情報収集や他の人の意見を聞いたことで環境など他のことも考えていきたい。	題材を通して学んだ内容を踏まえて記述している。
「努力を要する」状況 (C)	価格だけでなく、他のことも考えて購入することを意識したい。	視点を示し、具体的に考えられるようにする。

3 題材の目標及び評価規準

(1) 題材の目標

〔知識及び技能〕

購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性、売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解するとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。

〔思考力・判断力・表現力等〕

物資・サービスの選択・購入について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。

〔学びに向かう力・人間性等〕

よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

(2) 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解するとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 	<p>物資・サービスの選択・購入について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>

4 指導と評価の計画（第3学年7時間、本時3／7）

時間 指導 事項	・学習活動	○：評価規準 と ◇：評価方法		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 C(1) ア(ア)	自分や家族の物資・サービスの選択・購入について問題を見だし、課題を発表し合い、課題を設定する。		①物資・サービスの選択・購入について問題を見だして課題を設定している。 ◇：ワークシート	
2 C(1) ア(ア) (イ)	ゲームの購入場面で購入方法の特徴(店舗販売、インターネットを介した通信販売などの無店舗販売)についてまとめ、それぞれの利点と問題点を発表し合う。支払時期(前払い、即時払い、後払い)の違いによる支払い方法の特徴をまとめる。クレジットカードによる三者間契約の利点と問題点について考え、二者間契約と比較して発表する。	①購入方法や支払い方法の特徴について理解している。 ◇：ワークシート		
3 本時 C(1) ア(ア)	模擬家族のスマホの故障で崩れる家計の収支バランスの調整方法を検討し、各自の考えをグループで交流し、全体で発表し合う。 半年後に高校進学のために1ヶ月の収入程度の支出があることを想定し、どのように金銭管理をしていくとよいか、模擬家族へのアドバイスを考え、発表し合う。	②計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ◇：ワークシート		①金銭の管理と購入について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ◇：ワークシート
4 C(1) ア(イ)	「置き置き」の例などから物資・サービスの選択・購入の際に成立している売買契約についてまとめる。 ゲームの購入やキャッチセールスの場面などを想定し、消費者被害が発生する背景や被害を回避する方法などについて調べ、発表し合う。	③売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解している。 ◇：ワークシート		
5 C(2) ア	消費者の基本的な権利と責任について、店舗販売によるTシャツ購入の場面で具体的に考える。	④消費者の基本的な権利と責任について理解している。		
6 C(1) ア(イ)	野原家の購入する商品について観点を考え、情報の収集・整理を行う。 収集・整理した情報から、購入する炊飯器を選択する。	⑤物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ◇：ワークシート	②物資・サービスの選択・購入について考え、工夫している ◇：ワークシート 【指導に活かす評価】 ④物資・サービスの選択・購入についての課題解決に向けた一連の活動について考察したことを論理的に発表している。 ◇：行動観察 ◇：ワークシート	②金銭の管理と購入について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ◇：ポートフォリオ ◇：行動観察
7 C(1) イ	各自で「冬休みの外出用に1枚衣服を購入するとしたら」という設定で選ぶ観点を考え、情報を収集・整理して購入したい商品を選択する。			
8 C(1) イ	購入したい衣服についてグループで発表し合い、相互に評価し改善する。 発表と交流を踏まえ、物資・サービスの選択に必要な情報を改めて見直し、最適解となる衣服を再度選択する。		②の評価基準 【記録に残す評価】 ③物資・サービスの選択・購入について、実践を評価したり、改善したりしてい	③よりよい消費生活の実現に向けて、金銭管理と購入について工夫創造し、

			る。 ◇：ワークシート	実践しようとしている。 ◇：ポートフォリオ
--	--	--	----------------	--------------------------

5 本時について

(1) 主題

計画的にお金を管理するにはどうしたらよいだろうか

(2) 指導目標

モデル家族の収支バランスを調整する活動を通して、計画的な金銭管理の必要性について理解することができる。

(3) 評価規準

[知識・技能]

計画的な金銭管理の必要性について理解している。

(4) 指導及び評価の構想

生徒は前時まで、ゲームの購入場面で購入方法の特徴（店舗販売、インターネットを介した通信販売などの無店舗販売）や、支払時期（前払い、即時払い、後払い）の違いによる支払い方法の特徴、クレジットカードによる三者間契約の利点と問題点について考え、二者間契約と比較する学習を行ってきた。本時は、「生活するために使うお金」をどう管理していけばよいかという視点から、金銭管理の必要性について理解を深めさせたい。スマホの故障への対応の検討場面をあえて設け、「スマホを使える状態にする」という目的を達成するために、買い替える以外にも選択肢があるという点や一括払い、分割払いなどの支払い方法の工夫が家計管理する点でポイントとなることに気づかせたい。評価の場面として、実際の家庭生活の中で想定される時期的な支出（結婚式でのご祝儀、お悔やみ、入学金、入試に関わる費用、受験に向けて塾に入る）にどのように対応するかを考えさせ、様々な支出に対応するために、家庭生活における計画的な金銭管理の必要性への理解を深めさせていきたい。また、問題解決に向けて主体的に取り組もうとする姿についても見取り、形成的評価としていきたい。

(5) 展開

段階	学習内容及び学習活動 ・予想される生徒の反応等	指導上の留意点および評価 ・指導上の留意点○評価 ◆教材・教具等
導入 5分	1 事前アンケートの結果を表示 事前アンケート結果から導き出せる課題を確認、Googleフォームで集計したグラフを活用 ・日常的にお金の管理をしている人が少ないのではないかと。 2 本時の主題設定 野原家に起きたトラブルを確認し、「生活するために使うお金」をどう管理していけばよいか。その必要性を問いかける。 ・スマホの故障トラブルに対して、お金をやりくりしないとイケない。	◆パワーポイント・学習プリント ・支出の種類には必需的なものを選択的なものがあることを気づかせる。 ◆野原家の家計の内訳の割合をグラフにして提示する。
展開 35分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 計画的にお金を管理するには、どうしたらよいだろうか。 </div> 3 父のスマホ故障への対応を検討する。 選択すべきサービスのポイントを提示する ■父のスマホの故障（安心補償に未加入の場合） ・修理代2万円かかるけど、愛着があるスマホなので直した方がいい。 ・新しいスマホを購入する。残債の繰り上げ返済の1万5千円はすぐにかかるが、ローンを組めば、月々の支払いがこれまでと変わらないから。 ・父のスマホを新しく購入することにしたい。同じタイミングで子供のスマホ購入を約束していたけれど、契約するには、お金が足りないから諦めるしかない。 4 収支の調整方法を考える【思考の拡散】 個人→グループ→全体で共有 グループでジャムボードに意見をまとめ、共通項を整理する。【思考の収束】 発表【思考の拡散】 ・趣味にかけるお金を減らす。新しい服を買うのを我慢する。 ・父の飲み会の回数を減らしてもらう。 ・食費を節約する。外食を我慢する。 ・母がパートの回数を増やして収入を増やす。 5 生徒がまとめたボード上の意見を使い、金銭管理のポイントを整理する【思考の収束】 ・収支の調整には、選択的な支出から調整することが大切。 ・キャッシュレス決済の支出は、レシートや明細など記録を残しておくことよい。 ・計画的に金銭管理するには、今後を見通して収支の調整をすることが大切。	◆具体的にどのくらいの費用がかかるのか、分かりやすくカードにまとめて提示 ◆家計の中で修理費と購入費用がどのくらいの負担になるのか可視化して提示 ・初期投資費用とランニングコストの提示する ◆学習プリント ◆ジャムボード（クロムブック） ・「健康・快適」という視点にも気付けさせ、現実的な調整ができるようにする。 ・水道代や電気代、ガス代は今月使った分を翌月に支払うため、その月の支出の調整にはなり得ないが、長い目で見れば支出を抑えることができ、また、「持続可能な社会」の視点にも繋がることにも気付けるようにする。 ・母のパートの回数を増やす分、家事の担い手は子供になりうることから「協力・協働」の視点に気付くことができるようにする。 ◆パワーポイント・学習プリント
終末 10分	7 今後の家庭生活における様々な支出を想定し、どのように金銭管理をしていくとよいか、野原家にむけてアドバイスを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>■「十分満足できる」状況（A）と判断する生徒の具体的な記述例</p> <p>・日頃から、お金の流れが目に見えるようにレシートや明細とっておくように心がけてください。また、何かを購入する際には必要なものを優先的に購入し、すぐに必要でないものは購入計画を立てて、必要になるお金を貯めていきましょう。また、必需的な支出も節約して生活すると支出を抑えられるので、それを意識していくと選択的な支出に回せるお金が増えると思います。</p> <p>■「おおむね満足できる」状況（B）と判断する生徒の具体的な記述例</p> <p>・必要なものを優先的に購入し、すぐに必要でないものはいつ購入するかを計画して、必要になるお金を貯めてい</p> <p>きましよう</p> </div> 8 ふりかえり	・金銭管理のポイントを踏まえて、今後の野原家が計画的に金銭管理していくための視点や行動を考えられるようにする。 ・今日の授業でわかったこと、今後の生活に生かしたいことを記入できるようにする。